

【担当教員名】 村上信	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠な専門的社会福祉援助活動（ソーシャルワーク）で用いられる援助の方法・技術（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。
 社会福祉援助技術論Ⅱは、専門的社会福祉援助活動を担う専門職（ソーシャルワーカー）と社会福祉援助技術について、その意義、ソーシャルワークの体系、価値・倫理、展開過程、専門分化と総合化の現状と課題について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
 1. 社会福祉援助活動の場とそこでソーシャルワークが果たす役割や機能について理解する。
 2. ソーシャルワークの発展過程を学び、ソーシャルワークをめぐるわが国及び諸外国の動向について理解する。
 3. ソーシャルワークにとって必要不可欠な要素である契約、課題、面接介入、記録、評価について理解する。
 4. ソーシャルワークの間接援助技術と関連援助技術を理解する。
 5. 基本的コミュニケーションや円滑な人間関係を図るための方法について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	社会福祉援助技術の適用領域と対象分野	講義	
2	社会福祉援助技術の理論と動向（ソーシャルワークの源流）		
3	社会福祉援助技術の理論と動向（わが国及び諸外国の動向）		
4	社会福祉援助技術の理論と動向（ストレングズ、エンパワメント、社会構成主義）		
5	社会福祉援助技術の共通課題（展開方法、記録と評価）		
6	社会福祉援助技術の共通課題（記録とスーパービジョン）		
7	効果測定と評価		
8	間接援助技術と関連援助技術（社会福祉調査法の基本的性格と種類、統計調査法）		
9	間接援助技術と関連援助技術（事例調査における調査技術）		
10	間接援助技術と関連援助技術（社会福祉計画、社会福祉運営管理、社会活動法）		
11	事例を通して学ぶ		
12	事例における専門的な援助関係（ソーシャルサポートについて）		
13	事例における専門的な援助関係（援助関係とコミュニケーション技法）		
14	全体のまとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	『社会福祉援助技術論Ⅰ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	新版第3版
	『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	新版第4版
参考書	社会福祉援助技術論というタイトルで出版されている書物、たとえばミネルヴァ書房や有斐閣、建帛社、全社協などの出版物			
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する			

【評価方法】 出席状況及び定期試験	【履修上の留意点】
----------------------	-----------